

Yoichi タータン、サイクルツーリズム、EC サイト等の事業を軌道に乗せ随時改良、運用確立した分野の引継ぎを行いました。

1 Yoichi タータン：商品開発、ブランディング

2018年に誕生した「Yoichi タータン」を余市と同様に独自のタータンを持つ播州織りの産地、兵庫県多可町で制作、商品化するプロジェクトを立ち上げ、地域貢献と町内利益循環を目的としてスタート。生地販売、商品開発と販売、関連アイテムデザイン、PR等、ブランディング全般を担いました。

(1)商品開発と利益循環

昨年度からタータン愛好者や工芸・クラフト等をキーワードとする客層から収集した顧客ニーズを反映、1年間で20種類以上の播州織アイテムを商品化しました。制作に際しては町内の小規模事業者、社会福祉施設等の自立に繋がるよう仕様や制作料を協議し、協会利益率50%前後になるよう売価を設定。産地、売り手、作り手、買い手の全てに利益が循環すること、また余市の伝統産業の発信を目的として消費者にPR、マスコミでも多く取り上げられ道内外、海外からも反響を頂きました。

播州織タータンアイテムは観光協会仕様を決定し専売するオリジナル品と、作り手の自由な発想で制作販売できるクリエイターズ作品の2タイプで展開。従来のプリント商品とともに順調に売上を伸ばし、札幌チカホ出店など、直接消費者と触れ合うイベントでは好評を得、多くの応援を頂いています。

売上 (R5.4.1～R6.2.29)

2,232,070円 (播州織アイテムのみプリント商品含まず。前年比 (生地販売のみ) ↑894%)

協会オリジナル商品例

エプロン、テーブルクロス、手ぬぐい、ハンカチ、みつろうラップ、ランチョンマット、エコバッグ、ネクタイピン、ティッシュケースカバー、ダブルクリップ、クッション等



エルプラザ店舗のYoichi タータンコーナー



チカホ余市名産品販売イベントの様子

(2) Yoichi タータンを介した地域貢献

Yoichi タータンが根付くためには町民による認知向上と愛着醸成が必要と考え、学校や施設に生地サンプルや端布を配布。商品ニーズやアイデア収集のほか、タータンを活用して作品制作を楽しみ、タータンに親しみを持ってもらうなど、町内の学校や住民との交流を図りました。

生徒たちの社会参加を目指す余市養護学校中学部と協働した「Yoichi タータンみつろうラップ」の開発が契機となり、同校の社会科見学の受け入れ、花植えなどの出張授業、高等部の「タータンキャッチ」開発協力など交流が深まり、同校の学校運営協議員に任命されました。

また、余市女性更生会の札幌・後志地区会合記念品に、就労支援施設「あおぞら」が制作している「タータンダブルクリップ」が採用されるなど、事業目的に沿った成果が出始めています。



余市養護学校中学部の生徒たちと



タータンダブルクリップ

(3) デザインによるブランディング

Yoichi タータンの商品化においては、コストを掛けられない条件下でもブランドイメージを保ちつつ多様な商品に応用可能、かつ自前で出力できる包装資材・PR 素材をデザインしました。すべてのデザインに統一感を持たせることでイメージ向上にも繋がり、消費者の声を直接聞く場で好評を得ました。



2 サイクルツーリズム

自転車を観光に活用するサイクルツーリズムの契機としてサイクリングコースの設定とマップを作成し、補助金を得て電動レンタサイクル10台を導入、観光客の利便性向上に努めました。

昨年度、地元高校生にも町の魅力を再発見して欲しいという思いから、北星余市高校ボランティア局にイラストや高校生視点のコメント協力を仰ぎ「余市サイクリングマップ」を発行。好評を得、掲載施設から建物イラスト化の希望が寄せられたため、同局に引き続き協力を依頼、改良版「余市サイクリングマップ」を制作3,000部発行しました。さらに施設や立ち寄りスポットの追加、車が少なく眺めの良いコースへの変更も加えました。

この取り組みにより北星余市高校がメディアより取材を受け、北海道広報誌「ほっかいどう」に掲載、同校が補助金を取得、北星学園大学から表彰されるなど、学校の注目度向上にも貢献しました。

レンタサイクル利用状況 R5年4～11月

634,700円(566件)(前年比↑137% R4年度:463,900円 497件)



改良版余市サイクリングマップ



北星余市高校とのコース実走

また、昨年度、札幌市の北海道科学大学 未来デザイン学部が自転車を活用したシマノ主催の社会課題解決企画『散走(さんそう)』コンペのフィールドとして余市町を選定、ルート案内や取材アレンジ等で協力した企画が最優秀賞に選ばれました。提案の一部実現に向けて同大学と検討をかさね、余市幸福運巡りのスタンプ台紙改良、町を訪れる人と町の人との交流を促進する「余市フレンドリーマーク」の納品を受け、運用準備中です。



余市幸福運巡りマップ



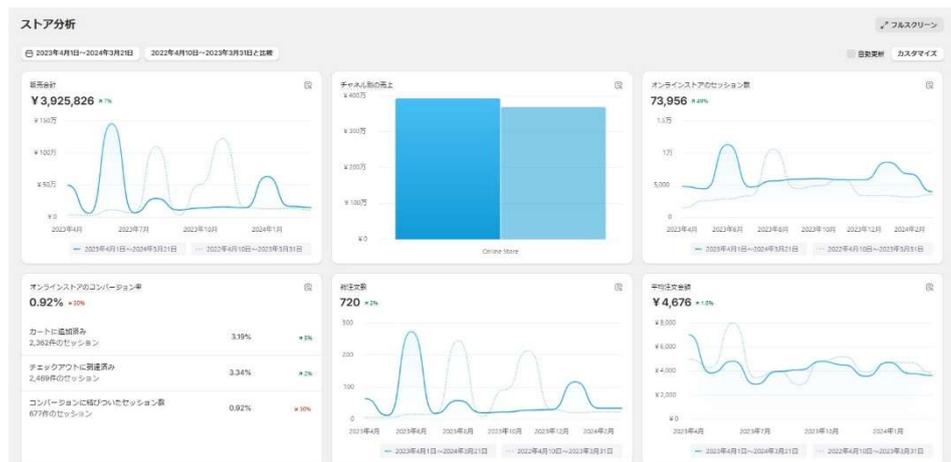
余市フレンドリーマーク

3 EC サイト「余市観光協会オンラインショップ」運営

令和3年12月よりリニューアルしたオンラインショップ「エルプラザ」の運用体制が確定したため、余市観光協会職員に運営を引き継ぎました。

(1)ストア分析 R5.4.1～R6.3.21（前年同時期対比）

当サイト売上総数1位の「にしんの余市干し」がふるさと納税返礼品としても人気を博し、ECでリピート購入されることで売上総数を1,000袋以上に伸ばしています。商品在庫不足によりワインや酒類の販売が伸び悩みましたが、食品販売数が伸び、利益率には上昇が見られます。



売上：3,925,826（昨年比↑7%）
コンバージョン率：0.92%（↓30%）
リピーター率：24.66%（↑110%）
平均注文額：4,676円（↑1.6%）

5 出演・掲載・講演ほか

メディア出演、担当事業の掲載等

- ・北海道新聞：「余市観光 自転車で 北星余市コラボサイクリングマップ」(4/4)
- ・北海道新聞：「"余市柄"のみつろうラップ」(タータン) (6/2)
- ・北海道新聞：「Yoichi タータンでクリップ 町図書館で好評 商品化へ」(2/14)
- ・北海道新聞「余市『タータン』町挙げ製品化」(3/22)
- ・北海道広報誌『ほっかいどう』：「高校生のマナビバ」(サイクリングマップ) (11月号)
- ・JP01 (雑誌)：「余市・仁木で畑をめぐるワイン旅」(サイクリングコース) (8月)
- ・STV「どさんこワイド お絵かきですよ」(道の駅PR) (4/24)
- ・司会：Yoichi マルシェステージ (4/1) (3/31)、北海ソーラン祭り (7/1)、味覚の祭典 (9/24)、宇宙記念館毛利衛名誉館長就任式典 (11/4)

イベント出店

- ・北海ソーラン祭り「地域おこし協力隊と遊ぼう！」コーナー(7/1)

- ・北海道余市発 チカホ特産品展示即売会(11/24-25)
- ・第3回タータンサミット in 多可 (3/24)

授業・講演等

- ・余市紅志高校：総合学習「産業社会と人間 地域を知る 地域の魅力」授業・ワークショップ(11/13)
- ・北海道開発技術センター：散走ミーティング「余市町 散走のその後」オンライン講演(3/11)



紅志高校授業総合学習



味覚祭り